

アライブロバンス、千葉県浦安市でマルチテナント型物流施設竣工

2021.11.25 No.4868

総合不動産を手がける(株)アライブロバンス(東京都墨田区江東橋2-8-3、03-3633-6931)は、千葉県浦安市で建設を進めていたマルチテナント型(複数企業向け)物流施設「アライブロバンス浦安」を竣工させた。用地1万4,878㎡に延床面積3万4,598㎡の建屋を建設し、設計・施工は西松建設(東京都港区)が行った。

アライブロバンス浦安は、アライブロバンスの前身である新井鉄工所の浦安工場跡地に建設した大型マルチテナント型物流施設で、特徴的なのは施設内に設けられた「道の庭」、「四季の庭」、「海の庭」と名付けられた3つの庭。道路沿いに広がる道の庭は道行く人、バスを待つ人に癒しと安らぎを与えるような柔らかな印象の植栽を施し、無機質な鉄鋼団地の中に温かい表情をつくる。併設されているバス待合所を抜けると広がる四季の庭は春夏秋冬に様々な植物を見ることができ、働く人だけではなく訪れた人が憩える場としてベンチも設置する。海の庭では従業員に憩いの場を提供するだけでなく、かつて東京の表だった水辺に街の新しい顔を取り戻すことを目指した。南国情緒あふれるピロウヤシなどのトロピカルな植物を植えるとともに、海上にせり出すような特徴的なテラスからは近隣テーマパークの施設や天気次第では富士山が見られる。

アライブロバンスは今後、オフィス、マンションの開発も手がけ、チャレンジ精神ナンバーワンの総合不動産カンパニーを目指す方針で、2022年には東京都江戸川区の工場跡地でも賃貸用大型物流倉庫の整備を計画している。なお、同社は2020年7月に100年を越える金属加工業から総合不動産に事業転換しつつ、社名を現社名に変更している。